

ハロートレーニング

～急がば学べ～



訓練生募集!!

長崎県立長崎高等技術専門校委託訓練

訓練科名	介護福祉士実務者研修科
訓練内容・資格の説明	<p>【訓練内容】：学科 + 実技</p> <p>【資格の説明】：『介護福祉士実務者研修』の資格は、国家資格である『介護福祉士』の受験要件の1つとなっており、質の高い介護サービスを安定的に提供していくことを目標に、基本的な介護提供能力の修得を目的としています。</p> <p>(介護福祉士の受験要件には、他に『3年の実務経験』が必要です)</p> <p>また、同じ介護の資格である『初任者研修』に比べ研修時間が長く、より専門的な知識(たんの吸引など)を得ることができるため、仕事の質も向上し、待遇面に影響することもあります。</p>
訓練期間・訓練時間	令和7年6月3日(火)～令和7年11月28日(金) 午前9時30分～午後4時10分
募集期間	令和7年4月1日(火)～令和7年4月30日(水)
施設名及び訓練場所	851-2102 長崎県西彼杵郡時津町浜田郷695番地6 3F 施設名 介護の人材育成センター ロジ 電話番号 (095)801-2260
定員	15名 応募者少数の場合は中止になる場合があります
応募資格	公共職業安定所に求職申し込みを行っており、公共職業安定所長の受講指示、受講推薦または支援指示を受けられる方。
応募先及び問い合わせ先	住所を管轄するハローワーク
受講料	1 訓練受講者の受講料は無料です 2 テキスト代(14,080円)が必要となります
その他	職業訓練生総合保険の保険料4,900円がかかります



委託訓練実施計画書

訓練科名	介護福祉士実務者研修科				訓練種別	離職者等
					訓練分野	介護実務
					訓練期間	6 か月間
商号又は名称	株式会社ロジ					
訓練実施施設	名称	介護の人材育成センター ロジ				
	教室名	時津教室	所在市町	西彼杵郡時津町		
訓練期間	令和7年6月3日(火)～令和7年11月28日(金)					
定員	15人 (最大実施人数15人 最小実施人数8人)					
訓練目標	<p>以下の3点を訓練目標とします。</p> <p>要介護高齢者・障害者の介護に関する基本的な知識・技術の習得 医療的ケアに関する知識及び技能の習得 社会人として求められる一般常識やマナー、コミュニケーション能力の習得</p>					
仕上がり像	<p>さまざまな状態の高齢者に対して、状況に応じた適切な介護を提供できるよう知識・技術が身についている。 また、利用者に対しての話の聞き方・話し方、目線などを意識したコミュニケーションをとることができる。</p>					
	資格取得の有無	あり		なし		
	資格名称	認定機関		試験・検定の時期	受験料(円)	任意
	介護福祉士実務者研修	株式会社ロジ		修了時	0	
求人の有無及び就職の可能性等	<p>長崎県における令和7.1の介護サービス業の有効求人倍率は2.75(求人2318:求職840)であり、求人数としては十分であると言えます。 介護業界では、さまざまな種類のサービスやそれに合わせた勤務形態が存在するので、訓練生の希望に沿った業務内容が選択できます。 本人が納得して就職できるような情報提供を心がけます。</p>					
	就職先で想定される職務内容	<p><介護業務> ・在宅介護(ホームヘルパー、デイサービスなど) ・施設介護(特別養護老人ホーム、グループホームなど) ・看護助手</p>				
ハローワーク求人情報	<p>長崎県における令和6.2～令和7.1の介護サービス業の有効求人倍率は3.60(求人9679:求職2691)であり、求人数としては十分であると言えます。</p>					

訓練カリキュラム

訓練科名	介護福祉士実務者研修科	訓練期間	6ヶ月	
商号又は名称	株式会社ロジ			
訓練実施施設	名称	介護の人材育成センター ロジ		
	教室名	時津教室	所在市町	西彼杵郡時津町
科目	科目の内容		訓練時間	担当講師
				主 補助
介護過程	関係他職種への理解、チームによる介護を行うための連携の取り方、介護のPDCAサイクル（利用者の状態観察 課題分析 計画立案 実施 評価）を理解する		26	
介護過程	関係他職種への理解、チームによる介護を行うための連携の取り方、介護のPDCAサイクル（利用者の状態観察 課題分析 計画立案 実施 評価）を理解する		33	
介護過程	関係他職種への理解、チームによる介護を行うための連携の取り方、介護のPDCAサイクル（利用者の状態観察 課題分析 計画立案 実施 評価）を理解する		59	
人間の尊厳と自立	介護における基本的理念を理解する		8	
社会の理解	介護保険制度やその他の社会保障制度の目的、しくみ（概要）、サービスの内容、専門職の役割を理解する		13	
社会の理解	介護保険制度やその他の社会保障制度の目的、しくみ（概要）、サービスの内容、専門職の役割を理解する		39	
介護の基本	利用者の尊厳を保持し、自立に向けた介護を展開するために介護職の職業倫理を理解する		12	
介護の基本	利用者の尊厳を保持し、自立に向けた介護を展開するために介護職の職業倫理を理解する		24	
コミュニケーション技術	高齢者・障害者に対する接し方・話し方の工夫、相談援助技術などの技法を理解・実践する		26	
発達と老化の理解	老化によるこころとからだの変化の特徴と日常生活への影響について理解する		13	
発達と老化の理解	老化によるこころとからだの変化の特徴と日常生活への影響について理解する		24	
認知症の理解	認知症の生活上の障害や特徴を踏まえつつ、認知症の人や家族に対する関わりの基本を理解する		14	
認知症の理解	認知症の生活上の障害や特徴を踏まえつつ、認知症の人や家族に対する関わりの基本を理解する		26	
障害の理解	さまざまな障害者の生活上の不具合や特徴をふまえ、当事者や家族に対する支援の基本を理解する		13	
障害の理解	さまざまな障害者の生活上の不具合や特徴をふまえ、当事者や家族に対する支援の基本を理解する		26	
こころとからだのしくみ	日常生活動作に関連する身体のしくみなど、支援の際に前提となる身体の機能等について理解する		24	
こころとからだのしくみ	日常生活動作に関連する身体のしくみなど、支援の際に前提となる身体の機能等について理解する		66	
医療的ケア（座学）	法制度や倫理等をふまえた医療的ケアの基礎的知識について把握したうえで、喀痰吸引と経管栄養の実施手順について理解する		57	
職場見学	訓練生の就業希望に沿った複数（2か所以上）の介護施設の見学をオンラインで行う		6	
実技	医療的ケア（演習）	座学で学んだ実施手順について、モデルの人形を対象とした喀痰吸引と経管栄養の演習を行う。演習は訓練生1人につき吸引・栄養合わせて5パターンの5回ずつ行う。	33	
	職場体験	施設と在宅サービスで職場体験を行う（それぞれ1か所以上）	30	
	障害の理解（高齢者疑似体験）	高齢者疑似体験セットを用いて、視覚・聴覚障害・関節可動域の制限などの体験を行う	3	
	普通救命講習	消防署実施の普通救命講習を受講（Eラーニング+消防署での実地研修）	3	
	生活支援技術	基本的な介護技術～さまざまな場面でボディメカニクスを使った介護技術について実技を行う。	30	
生活支援技術	基本的な介護技術～さまざまな場面でボディメカニクスを使った介護技術について実技を行う。	51		
就職支援		職務経歴書・履歴書・ジョブカード作成指導、職業相談、面接対策など	30	
受講者が負担する費用(予定)	合計	18,980円	総訓練時間	689時間
	教材	14,080円	学科	509時間
	その他	4,900円	実技等	180時間
		その他の内容	実技	150時間
	職業訓練生総合保険料	就職支援	30時間	
		企業実習	0時間	
		入校式・修了式	3時間	
	訓練時間等計	692時間		